トランクが７億円調達

倉庫の運営システム拡充

荷物の保管や売却サービスを手がけるトランク（東京・新宿、松崎早人代表取締役）は30日、ＮＴＴドコモ系のベンチャーキャピタル（ＶＣ）などから総額７億円を調達したと発表した。調達した資金は、個人向けに提供するサービスの広告宣伝費や、法人向けにこのほど始めた倉庫の運営システムの拡充に活用する。

トランクに出資したのは、ＳＢＳホールディングスとＮＴＴドコモ・ベンチャーズ（東京・港）、人材サービスのエン・ジャパン、長谷工アネシス（東京・港）など。既存株主の三菱ＵＦＪキャピタルも追加出資した。

トランクは2014年設立。個人向けに消費者が段ボールに詰めた荷物を預かるサービスを提供している。中に入った物の写真を撮影し、中身を管理したり売りに出したりできる。申し込みや集荷、荷物の管理をスマートフォン（スマホ）のアプリでできるのが特徴。17年秋にＮＴＴドコモと提携し、有料サービス「ｄリビング」の利用者は段ボール１箱分を無料で預けられる。

トランクは預けたものの写真を撮影して管理し、取り出したり売ったりできる

個人向けの荷物管理のシステムを応用して、17年末から法人向けにクラウドを使った倉庫の運営システムも提供している。